

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3041号 2024年4月9日(雨) 第37回例会 会員数103名

ハイブリッド例会

点 鐘 石川(元) 会長
司 会 副SAA 今泉会員

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

◇本日のランチ 小付 煮物 ポークヒレカツサラダ
添え香の物 汁 デザート ご飯

ビジター紹介

小林(正) 副会長

◇来訪ロータリアン

2名(1クラブ) 累計26,643名

宇都宮南RC

高久 和男 様

長谷川 博夫 様(地区RYLA委員長)



会長挨拶

石川 元信 会長

皆さん、こんにちは。荒天にもかかわらずお越しいただきありがとうございます。先だって台湾の方で大きな地震がありました。それに関連しまして、ネットのニュースを見たのですが、台湾東部の花蓮県で橋が崩落しましたが、100年程前に作られた日本統治時代の橋が代わりに使われ、道路の遮断が救われたということです。「百年老橋」として話題になっているそうです。台湾と日本は古い絆で繋がっていると思います。東日本大震災や能登半島地震等でも台湾からいろいろな援助をいただきました。我々も台湾への援助を考えていますので、その時はご協力、お願いいたします。

本日は、細谷会長エレクトからPETSの報告があります。また、スペシャルオリンピックス、RYLAのキャラバンということで高久様、長谷川様にお越しいただいております。皆様からもご協力いただければと思っています。

◇スペシャルオリンピックス キャラバン

宇都宮南RC 高久 和男 様

スペシャルオリンピックス栃木では、皆様からの寄付のお願いをしております。また、応援していただける会員、賛助会員を募集しています。是非、ご協力お願いいたします。

―スペシャルオリンピックスとは、知的障がいのある人たちに、様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織―

※配布のパンフレットに詳細記載

◇第20回高校生RYLAセミナーのご案内

地区RYLA委員長 長谷川博夫様

日 時 2024年6月9日(日)

場 所 宇都宮文星女子高等学校

内 容 模擬国連

是非、提唱するIACにお声掛けください。



幹事報告

谷田部(修) 幹事

◇本日18時30分~ ホテルニューイタヤにて
石川年度第10回定例理事会開催。

◇4月14日(日) 地区研修・協議会がライトキューブ宇都宮にて開催。対象の方はご参加を。



委員会報告

◇出席委員会

黒澤委員長

<皆出席表彰・3月分>

連続41年 青木 格次会員

通算27年 金澤 正英会員

連続10年 富貴塚真人会員

通算9年 石川 元信会員

◇スマイルボックス委員会 菊地(正) 委員長

細谷俊夫会員

親睦ゴルフにてハンデに恵まれて準優勝しました。

◇親睦委員会

山崎副委員長

ハイキング同好会の協力を得て、4月21日に親睦家族ハイキング実施。内容は国立競技場スタジアムツアー見学、水上バスにて浅草近辺のハイキング。是非ご参加を。



卓 話

クラブ協議会(第6回)

司会進行 谷田部幹事

本日のクラブ協議会はクラブ細則第5条第7節の規定により、3月17日に開催されました2024-25年度国際ロータリー第2550地区会長エレクト研修セミナーの報告を細谷俊夫会長エレクトよりしていただきます。

「会長エレクト研修セミナー(PETS)の報告」

会長エレクト 細谷 俊夫 会員

皆さん、こんにちは。3月17日の日曜日11時から16時30分まで、駒生町のコンセーレにて行われました、2024-25年度国際ロータリー第2550地区、会長エレクト研修セミナー(PETS)並びに幹事エレクト研修セミナー(SETS)に行っていました。この研修は、会長エレクト及び幹事エレクトが必ず受けなくてはならない事になっています。PETSの目的は、会長の心構えを学ぶことです。2024-25年度のRIテーマは、「ザ マジック オブ ロータリー」。日本語では、「ロータリーのマジック」と言います。ステファニーA.アーチックRI 会長エレクトは、アメリカ合衆国ペンシルバニア州のマクマーリーRC所属です。アーチック氏は、

- 1 平和を優先するために、ロータリーの行動計画を推進、ポリオ撲滅へのコミットメント
 - 2 継続と変化のバランス
 - 3 DEI(多様性・公平性・インクルージョン)重視
 - 5 地区で4~5クラブ増・純増100人
- とっています。詳細はガバナー月信をご覧ください。RIのテーマ「ロータリーのマジック」がよく理解できると思います。

次に地区目標と方針ですが、市田ガバナーエレクトは、「ロータリーを楽しもう」としました。資料を配布しましたが、ロータリーを楽しむための、クラブ運営方針と重点項目は、

1 会員増強

重点目標として、ロータリー会員の増強を課題としてあげます。現在国際ロータリアンの会員数を見ると横ばいの傾向であります。21世紀に入る頃までは、会員数は右上がりで、急激に増加してきました。1956年には約40万人でしたが、その後1966年、76年、86年、96年と、10年ごとに20万人ずつ増え続け、1986年には100万人を突破し、1996年には120

万人となりました。しかし、その後、21世紀に入り、120万人を超えたところでほぼ横ばいの状況が続いており、現在2023年9月現在クラブ数37,010、会員数1,181,334人です。では国内会員数はどうか、最も多かったのは1996年11月末の130,982人で、その後は毎年減少の傾向にあります。2550地区においても会員減少は、切実な問題であり、クラブの存続さえも危惧されます。この状態を何とか解消しなければ、ロータリーの意義を問われることにもなります。それには、新入会員の増強と退会防止の2点が大切になります。

① 会員増強の取り組み

各地域においてクラブの奉仕活動を行っていますが、それと同時にロータリーとはただ単に奉仕活動だけではなく、自身の職業意識を高めることができる団体であることを強調し、理解をしていただくこと。各クラブの活動を地域の方々に知ってもらう機会を作ることに取り組んでいただきたい。

② 退会防止

退会者を出さないこと。各クラブで退会者が出た場合その理由が何か、どこに原因があるのかを検討していただくことです。退会の原因の要因として、会員の高齢化という問題があります。毎回の例会出席が難しくなり、新入会員をはじめ若手会員との交流が取れなくなる状況があります。この状況を打破する施策を考えること。また、会費をはじめ諸経費の経済的問題も考慮する必要もあるかと思えます。以上を重点項目として、純増2名を目標として取り組んでいただきたい。

2 ポリオ撲滅活動の推進

あと少して、ポリオの撲滅が可能となりました。ここからが正念場です。国際社会情勢により、ワクチンが投与できないことがないように、更なる活動をしなければなりません。天然痘に続き、人類で二つ目の地球上からの病気撲滅です。ここで止めるわけにはいきません。ロータリアンが最後まで世界の子供たちに誓った約束を守りましょう。

3 地区グループでの共同活動

一つのクラブで活動を行うことも大切ですが、会員減少の傾向によりクラブ活動が制限されることなく、また有意義な活動を継続するために、各地区グループでの共同活動を活発に推進する。第2550地区ではポリオ撲滅運動が地区で行われるようになり、十分な成果が得られることが証明されました。特にロータリアン共通認識の活動は、地区あるいは複数のクラブで活動することを推奨します。さらには、各クラブにおいて、例会プログラム、イベント情報を他クラブに紹介をして、メイクの奨励を図ります。また、RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)にも積極的

に参加しましょう。

以上の3つをあげましたが、他に地区目標として

4 ロータリー財団の有効な活用

地区補助金を活用した地域社会への貢献、グローバル補助金を活用した国際社会への貢献を図ります。そのため、ロータリー財団への寄付目標を1人150ドル、ポリオプラスは30ドルとします。

5 米山記念奨学生の支援

クラブと奨学生並びにその母国との親善関係を作る重要な意義を再認識すること。そのため、米山記念奨学生への寄付の目標を1人19,000円とします。

6 DX化への対応

メンバーの教育と意識向上：DX（デジタルトランスフォーメーション）の基本をメンバーに教育し、デジタル技術の重要性について意識を高める。ロータリークラブの活動や成果を広く知らせるために、ソーシャルメディアを積極的に活用します。定期的な投稿やキャンペーンを通じて、地域社会との連携を強化します。また、My Rotaryへの登録及び活用を推奨します。

7 ロータリーの友活用

いろいろな有益情報があり、それを記事紹介する場を例会において設けることを推奨します。

という事でした。市田ガバナーエレクトは「みんなで、ロータリーを楽しみ、仲間を増やしましょう。」とっています。

次に、第2840地区パストガバナー田中久夫様のお話で、印象に残った言葉がありましたので発表させていただきます。「孔子の言葉に「知・好・楽」の教えがあります。ロータリーをただ知るだけではなく、ロータリーを好きになり、さらに楽しむまでに至ってこそ、本物のロータリアンになれるでしょう。」ということです。まさに、その通りだと思いました。

その他、各地区委員長からの次年度方針について話がありました。内容についてはガバナー月信をご覧ください。東ロータリークラブの中では、太城地区ラーニングファシリテーターをはじめ、田原公共イメージ委員長や松山ローターアクト委員長が発表をしていました。

東ロータリークラブへのガバナー公式訪問は10月1日火曜日です。皆様、よろしく願いいたします。以上PETSの報告です。ありがとうございました。